



鹿形飾金具
紀元前 5 ～ 3 世紀
東京大学考古学研究室蔵

モンゴル～シベリアを歩く～ ―鳥居・江上の大陸探検―

XX зууны нүүдэлчиний соёлтой танилцсан тэмдэглэл ～Торий Рюүзо, Эгами Намио нарын судалгаа～

Special Exhibition
Longing for the Steppes: Expeditions in Mongolia and Siberia by Ryuzo Torii and Namio Egami

2012 年 7 月 28 日 | 土 | ～ 9 月 23 日 | 日 |

Saturday, July 28 to Sunday, September 23, 2012

開館時間 | 9 時 30 分～17 時 (入館は 16 時 30 分まで)
Hours: 9:30-17:00 (Admission until 16:30)
休館日 | 月曜日 ※ただし 9 月 17 日 (月・祝) は開館、9 月 18 日 (火) は休館
Closed: Mondays except September 17, and Tuesday, September 18
入館料 | 一般: 300 円 / 小・中学生: 150 円
Admission: 300 for Adults, 150 for Primary and Junior High School Students

・企画展の観覧券で、2 階横浜ユーラシア文化館常設展、4 階横浜都市発展記念館常設展もご覧いただけます。
・「濱ともカード」「敬老特別乗車証」「障害者手帳」「愛の手帳 (療育手帳)」などをお持ちの方は無料です。
・毎週土曜日は小学生・中学生・高校生は無料です。
・諸事情により休館など変更が生じる場合は、当館ウェブサイトでお知らせいたします。

遊牧世界に魅せられた日本人たち

鳥居龍蔵

江上波夫



馬上で弓をひく 1908 年
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館蔵



モンゴルの貴婦人 1931 年
東京大学総合研究博物館蔵



モンゴル人の相撲 1931 年
東京大学総合研究博物館蔵



鳥居の調査隊一行 1930 年
東京大学東洋文化研究所蔵



獣頭形飾金具
紀元前 6 ～ 4 世紀
京都大学総合博物館蔵



馬形飾金具
紀元前 9 ～ 7 世紀
京都大学総合博物館蔵



横浜ユーラシア文化館
Yokohama Museum of Eurasian Cultures

〒231-0021 横浜市中区日本大通 12 12 Nihon-odori, Naka-ku, Yokohama
Tel.045-663-2424 Fax.045-663-2453 <http://www.eurasia.city.yokohama.jp/>

◎主 催: 横浜ユーラシア文化館 ◎共 催: 横浜市歴史博物館、横浜市教育局委員会

◎後 援: モンゴル国大使館、モンゴル国商工会議所・日本、朝日新聞横浜総局、神奈川新聞社、日本経済新聞社横浜支局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞東京本社横浜支局、FM ヨコハマ、NHK 横浜放送局、+vix

モンゴル～シベリアを歩く～ ―鳥居・江上の大陸探検―

遊牧世界に魅せられた日本人たち

かつて、広大なユーラシアの草原地帯の生業は、騎馬遊牧と狩猟でした。土地を傷つけることなく自然とともに暮らす伝統的な生活は、今ではモンゴル高原などのごく一部に残るだけですが、古くから多くの日本人を魅了し、考古学的・民族学的調査が行われてきました。現在では、エコロジーの観点からも見直されています。

本展覧会では、日本・モンゴル外交関係樹立 40 周年を記念して、日本人がモンゴル高原とそれに連なるシベリア地域で行った考古学的・民族学的調査に着目します。19 世紀末から大陸調査に携わった鳥居龍蔵、1930 ～ 40 年代に、モンゴル高原で大きな成果を上げた江上波夫の調査を中心に、その収集資料や調査時の写真等を通して、この地域の諸文化と、そこに向けられた日本人のまなざしを見ていきます。

鳥居龍蔵
(1870-1953)

日本の民族学・考古学・人類学の基礎を築いた研究者。

幅広い視野とフィールド

ワークに基づく実証的な研究は今なお比類なく、その後登場した多くの学説にとって先駆的な内容を含んでいます。1895 年の遼東半島の調査を皮切りにアジア各地を踏査、その研究はやがてモンゴル高原を中心とする遼の文化に収斂されていきます。結婚後は調査に家族を同行、家族を交えた現地の人々との交流は、その研究成果に反映されています。調査にカメラを導入したことで知られています。



『武蔵野』 横浜国立大学附属図書館蔵



鉢 紀元前 6 ～ 5 世紀
横浜ユーラシア文化館蔵

江上波夫
(1906-2002)

歴史学、考古学、民族学にまたがる幅広い研究を行った東洋学者。

学生時代から騎馬遊牧民の研究を志し、1930 年代から 40 年代の調査で華々しい成果を上げますが、戦後の国際情勢は日本人のモンゴル高原における調査を許さず、西アジアなど他地域にフィールドを移すこととなります。ようやく再調査を期してモンゴル高原に赴くことができた時、江上は 80 歳を過ぎていました。再び自ら発掘調査を行うことはありませんでしたが、その志は続く世代に今も受け継がれています。

写真: 東京大学総合研究博物館

展示構成

プロローグ 大陸をめざす

I 鳥居龍蔵の調査

- (1) モンゴル高原へ
- (2) 東シベリアへ行く
- (3) 遼の文化を探索



草薙ヶ原の鳥居と家族
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館蔵



遼三彩彫刻埴
10 ～ 11 世紀
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館蔵

II 江上波夫の調査

- (1) 『内蒙古・長城地帯』の世界
- (2) オロンスムの発見
- (3) ふたたびモンゴルへ、そしてシベリアへ

白樺製容器
20 世紀初頭
国立民族学博物館蔵



ネストリアンシール 12 ～ 14 世紀 東京大学総合研究博物館蔵

III 現在のモンゴル～シベリア調査

- (1) 初期遊牧民の文化
- (2) モンゴル帝国時代を掘る
- (3) 民族学的調査から



モンゴル国オラン・オウシグの調査 2003 年

エピローグ 21 世紀のモンゴル～シベリア

関連企画

※詳細は決まり次第当館ホームページ、チラシ等でお知らせします。

1 コーナー展示「鳥居龍蔵の横浜調査」

【会期】7/28(土) ～ 9/23(日)
【会場】2 階常設展示室 (一部)
※企画展観覧券または常設展観覧券でご観覧いただけます。

2 展示解説

【日時】8/4(土)、9/1(土)、9/15(土)
それぞれ 14:00 から 30 分程度
【会場】3 階企画展示室
【参加費】無料 【申込み】不要
※ただし企画展観覧券が必要です。

3 ミニ講座

○第 1 回 鳥居龍蔵のシベリア調査 8/18(土)
講師 高橋健 (横浜市歴史博物館学芸員)
○第 2 回 江上波夫のモンゴル高原調査 8/19(日)
講師 畠山禎 (横浜ユーラシア文化館学芸員)
【会場】1 階ギャラリー
【時間】14:00 から 40 分程度
このあと展示室で展示解説を行います。
【参加費】無料 【申込み】不要
※ただし展示室に入るには企画展観覧券が必要です。

4 ゲルを組み立てよう!

【組立日】8/11(土) 時間は未定
8/11(土) ～ 8/26(日) 中庭にゲルが登場!
【会場】1 階中庭

5 夏祭り「ゲルに集まれ!」

8/25(土)・26(日)
全館無料の 2 日間。
中庭にゲル! 楽しい企画がいっぱい!!
① シャガイで遊ぼう!
② 馬頭琴ワークショップ
③ モンゴルのダンス
④ お話し会 (モンゴル民話の読み聞かせ) など

6 モンゴル～シベリア プチ体験!

民族衣装や生活道具に触れながら楽しんで学べます。
【日時】本企画展開催中の土・日・祝日
9:30 ～ 17:00



公益財団法人 横浜市ふるさと歴史財団

横浜ユーラシア文化館
Yokohama Museum of Eurasian Cultures



〒231-0021 横浜市中区日本大通 12 12 Nihon-odori, Naka-ku, Yokohama
Tel.045-663-2424 Fax.045-663-2453 <http://www.eurasia.city.yokohama.jp/>